

# 中高生が時代劇「<sup>まぶた</sup>瞼の母」を高齢者施設で公演!

都立戸山高等学校公開講座  
「時代劇をつくろう～演劇をとおして自己表現しよう」

7月19日、北新宿高齢者在宅サービスセンター「かしわ苑」。昼休みに集まった約60人のお年寄りを前に公演スタッフが「みなさん、今日のお芝居は『瞼の母』です」と説明したとたんにどよめきと大きな拍手が起こりました。まさか中高生の芝居の演目が『瞼の母』とは思わなかったという驚きです。  
この公開講座は中高生が時代劇をつくって高齢者在宅

サービスセンターで公演を行うというユニークな内容です。都内から参加した中高生20人が、4日間で計22時間の稽古をこなし、この日、最初で最後一度きりの舞台上に臨みました。この取組について、講座の担当で戸山高校演劇部の顧問をされている後飯塚先生にお話を伺いました。

## 戸山高校

### なぜ、中高生に「時代劇」なのでしょう?

演劇部の顧問をしています。高校の演劇部って公演して喜ばれたり喝采を浴びたりすることが意外に少ないんです。そこで、高齢者施設で時代劇を公演させてもらったかどうかと考えました。実際、公演したらすごく喜んでもらえて、それが生徒の自信につながったという経験があるんです。「公開講座で演劇を」というお話をいただいて、中高生を対象に同じことをやってみようと思いました。

### 講座を企画した時、既に「かしわ苑」での公演は決まっていたのですか?

そうです。戸山高校出身の新宿区の職員の方をお願いして紹介していただき、二つ返事で受け入れていただきました。公演日時も場所も演目もお客さんも決まって、それから劇団が結成されたということです(笑)。絶対に失敗できないわけです。もし、参加者が集まらなかったら戸山高校の演劇部で公演ができるようにバックアップ体制をとってもらって実施に踏み切りました。この援助がなかったら実現不可能な企画でした。

### 参加した中高生は何を感じたのでしょうか?

参加者の感想文には「やってよかった」「涙を浮かべてよるこんでもらえて嬉しかった」というものが目立ちます。みんな「やり遂げた」という達成感を持ってくれたと思います。手伝ってくれた演劇部の生徒も同じでしょうね。本当に苦労かけましたけど、中学生に芝居を教えることでもう一度自分の演劇に向かう気持ちを確認できたし、公演の下支えになったという達成感を感じてくれたと思います。お年寄りは本当に「褒め上手」なんです。『慰問に行く』とか「何かしてあげる」ということじゃなくて「自分たちの芝居を見て欲しい」というつもりでやりました。

### 結果的に「ボランティア活動」になっているわけですね。

自分たちが持てる力を出しあって一生懸命に芝居をしたことが、人のためになったという意味で、結果的に「ボランティア活動」になったと思います。最初から人の役に立ちたいと思ってボランティア活動に入る場合もあれば、実際にやってみて「人に喜んでもらえた、うれしかった」って実感しながら「世のため、人のため」に自分が何をできるのかを考えていく場合もあるんじゃないかと思うんです。

観てくれたお年寄りは自分の孫かひ孫にあたる中高生の芝居を見て喜んでくれる、参加者は自己表現ができて喜んでもらえる、褒められる、講座を支えてくれた高校生もモチベーションが上がる、というふうに三者三様に喜びを分かち合いました。自己実現しながらつながりあって、結果的にお互いのためになるということが素敵だったと思います。

「瞼の母」(まぶたのはは):生き別れになった母と子のすれ違いを描く時代劇の定番。長谷川伸原作の昭和初期の戯曲。

都立学校公開講座:学校が持っている優れた人材や施設設備などの教育機能を、地域の人たちに開放する東京都教育庁社会教育課の主催事業。すべての都立学校で年間500を越える講座を実施しています。原則公開講座は成人対象ですが、地域の教育力向上のために児童・生徒を対象とする講座も一部実施しています。



殺陣までこなす堂々たる演技。主人公の「番場の忠太郎」は中学3年生2人が交互に演じた。



国際協力NGOセンター(JANIC)  
〒101-0054 千代田区神田錦町2-9-1 斉藤ビル5F  
<http://www.janic.org/> 電話03-3294-5370 ファクシミリ03-3294-5398

全国社会福祉協議会全国ボランティア活動振興センター  
〒100-8980 千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
<http://www.shakyo.or.jp>  
電話03-3581-3455(電話相談) ファクシミリ03-3581-7858

全国体験活動ボランティア活動総合推進センター  
〒110-0007 台東区上野公園12-43 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター内  
<http://volunteer.nier.go.jp/> 電話03-3823-8687 ファクシミリ03-3823-3210

環境情報・環境ボランティア情報検索サイト  
『環境らしんばん』(地球環境パートナーシッププラザ)  
<http://plaza.geic.or.jp/>